

詳細パトロールの取り組み状況をご紹介します

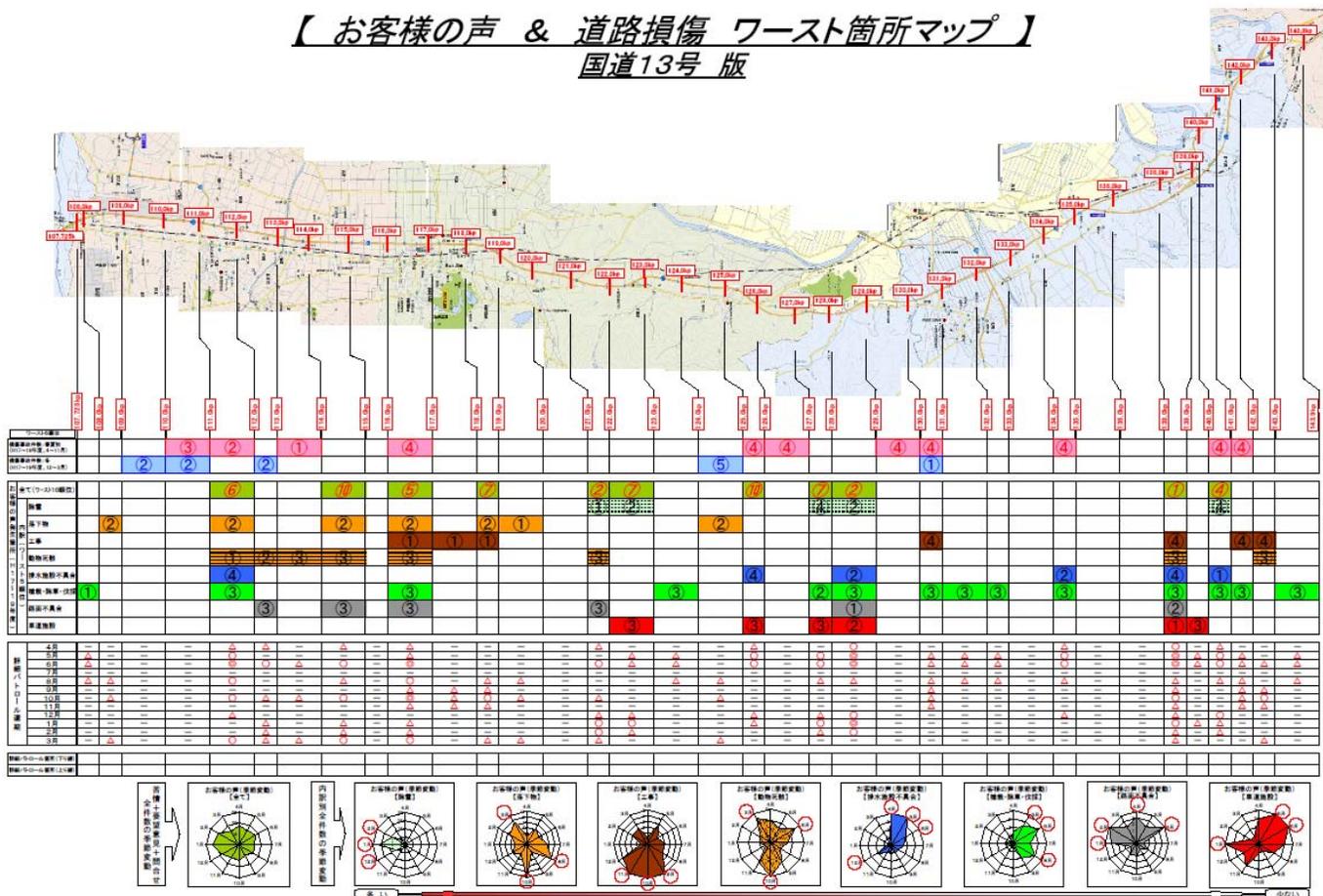
尾花沢国道維持出張所では、通常の車上パトロールに加えて、徒歩による詳細パトロールも実施し、より安全な道路の維持管理に努めています。

徒歩による詳細パトロールは、車からでは見えにくい危険箇所などを、早期発見して対処することが大きな目的です。歩行者や自転車などの交通弱者が安全に通行できることにもつながる重要な業務の一つです。(管理区間全域で実施しています)。

詳細パトロールでの点検内容は多岐にわたっています。限られた予算と時間の中で、緊急を要するものなど必要な補修を行いました。

今年度実施した主な事例を皆様にご紹介します。

【お客様の声 & 道路損傷 ワースト箇所マップ】 国道13号 版



「お客様の声」を分析して、どの区間に、どんな内容のご意見が、どの時期に多く寄せられているか等の情報を一覧表に整理。

色がいっぱいしている区間が、ご意見の多い区間＝要チェック区間となります。

これをもとに詳細パトロールを行います。



★事例紹介★



側溝蓋の間に、隙間ができていました。自転車の車輪が挟まれば、大ケガする可能性があります。



転落防止柵の取付部分が破損していました。歩行者や自転車の安全を守るためのものなので、補修しました。



側溝際に段差ができていました。歩行者・自転車ともに危険なため補修しました。



縁石ブロックの損傷に伴い、歩道に亀裂が入っていました。ブロックの損傷による事故のおそれや、歩行者・自転車にとっても危険なため補修しました。



集水柵部分に段差ができていました。歩行者・自転車の通行の安全を確保するためにも補修が必要でした。



路肩が崩れて側溝に土砂が流入していました。さらに悪化し、側溝が塞がれる前に処置しました。



歩道の舗装が沈下していました。起伏が生じており、さらに雨天時には大きな水たまりができるため、補修しました。



舗装の境目が劣化して隙間ができていました。
自転車が転倒するおそれがありますので補修しました。



グレーチング蓋(網目状の蓋)に跳ね上がり防止金具がついていないと、車が上を通過した衝撃でグレーチングが跳ね上がり、事故に直結する場合がありますので補修しました。



側溝の蓋が劣化して落ちそうになっていました。
ここは歩く人もいるため、段差がでないようにグレーチング蓋を設置しました。



側溝蓋が劣化し、鉄筋がむき出しの状態です。
劣化が進めば、この箇所にも穴が出現するので、事故防止のために補修しました。



歩道の穴は、歩行者・自転車の通行に危険があり、また、拡大を防ぐためにも早急に対応する必要があります。



集水枡の蓋の角がめくれているので危険でしたので、元通りになりました。



側溝蓋の劣化、ヒビ割れによるへこみなどが生じており、危険な状態だったので、補修しました。

徒歩による詳細パトロールは、地域のみなさんやドライバーのみなさんからのご意見・ご要望をその場でお聞きできる大切な機会だと思っています。
普段気にしていること、対処してほしいことなど、いつでもお声がけください。



今後も詳細パトロールを通じて安全確保に努めます。
お気づきの点がございましたら、お気軽にご連絡下さい。

道路に関するご意見・質問、出張所通信の感想など
どんどんお寄せ下さい！

国土交通省 山形河川国道事務所 尾花沢国道維持出張所

<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syucho/obaiji/index.html>

〒999-4221
山形県尾花沢市尾花沢字田町143-1
TEL. 0237-23-2521
FAX. 0237-23-2523



1月の出張所通信

- 1-1. 降雪・積雪データを発表します
- 1-2. 国道沿いの冬支度をご紹介します
- 1-3. 冬の道路パトロールをご紹介します
- 1-4. 道路損傷の復旧処理をご紹介します
- 1-5. 道路照明維持工事をご紹介します